

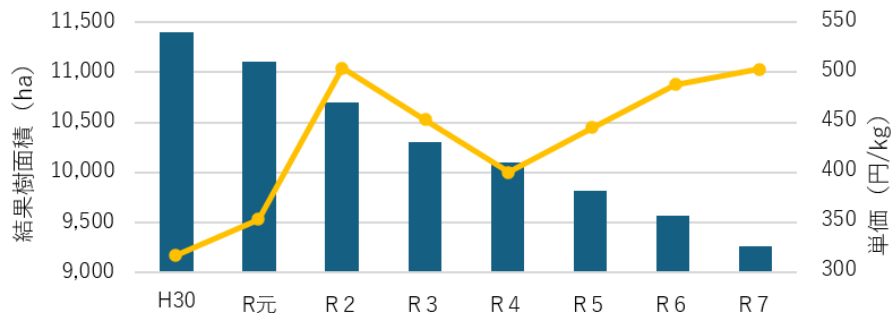
Ⅲ や っ ら っ ば 閑 話

「日本なしとめぐる情勢」

ここ最近の青果棟は、日本なし、かき、りんご、栗、ぶどう等秋の味覚が続々と入荷しています。今回はなしの勉強を兼ねて、日本なしをめぐる情勢をまとめてみました。

①結果樹面積、単価について

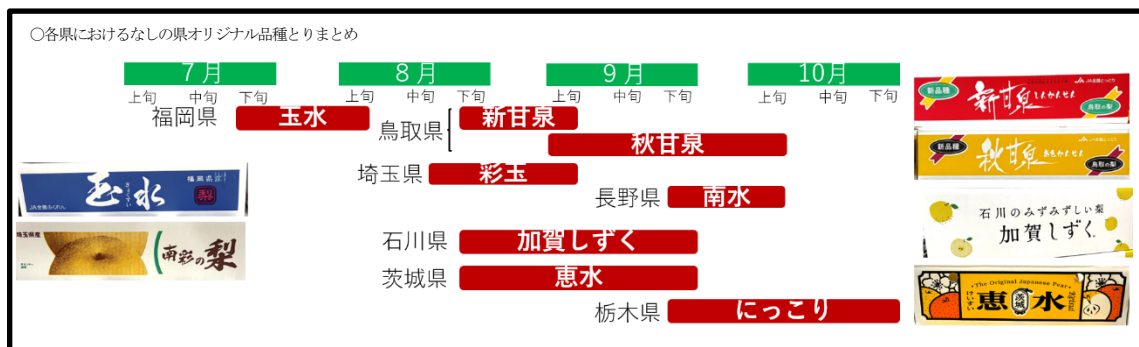
- ・全国、主産県（データは省略）の結果樹面積は右肩下がり。7年前と比較して約2,000ha減少している。一方単価は、令和2年のコロナ渦における巣ごもり需要による高騰、令和4年の豊作による下落がありながらも、供給減少に伴い、増加傾向。



資料：農林水産省「作物統計調査 作況調査（果樹）」、東京中央市場青果卸売会社協会「青果物情報センター」を基に作成
図1 全国の日本なしの作付面積及び単価の推移（平成30年～令和7年）

②消費動向について

- ・なし、りんご、生鮮果物における年別月別支出金額を調べたところ、合計金額はなしに比べりんごの方が高いものの、令和元年から令和7年の合計金額の増減率はりんごよりなしの方が高いことがわかる。
- ・なしについては、特に7～11月の支出金額が増えていることがわかる。
この時期は既存のなしと併せて、各県が独自に開発した県オリジナル品種が出荷される時期であり、これらのなしの開発が支出金額増加につながっている可能性がある。



単位：円															合計における増減率 (R7/R元)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
なし	R元	8	1	0	1	0	1	31	529	729	271	115	63	1,749	11%
	R7	13	5	1	0	0	3	52	557	773	312	157	76	1,949	
りんご	R元	376	420	407	340	268	227	173	147	334	498	680	780	4,650	4%
	R7	417	441	435	356	296	245	199	187	321	498	700	719	4,814	
生鮮果物	R元	2,659	2,646	2,747	2,583	2,554	2,683	3,198	3,695	3,459	3,008	2,936	3,575	35,743	14%
	R7	2,894	2,868	3,216	2,817	2,725	2,977	3,457	4,406	4,165	3,599	3,536	4,106	40,766	

資料：総務省「家計調査（品目分類 支出金額）」を基に作成

表1 なし、りんご、生鮮果実における年別月別支出金額

(脱藩普及員)